



TAD アート・レクチャー

「TAD アート・レクチャー」は、富山県美術館について、アーティスト、研究者など、さまざまな角度で作品の魅力に迫る機会を提供していきます。今まで知らなかった意外な事実や作品の見どころが深まる機会です。

演題：「作品がうまれるとき」

○日時：2019年12月15日(日) 14時～(約90分)

○講師：やまぐち けいすけ 山口 啓介 氏 (美術家)

講師略歴：1962年兵庫県生まれ。1985年武蔵野美術大学卒業。1992年 Asian Cultural Council のプログラムによりニューヨーク滞在。同年、文化庁芸術家在外研修によりペンシルヴァニア大学(フィラデルフィア)にヴィジティングアーティストとして滞在。1995年大阪 トリエンナーレ 1994、関西ドイツ文化センター・デュッセルドルフ市特別賞を受賞、デュッセルドルフに滞在する機会を得る。また 1996年アトリエ・ヒューアベックの助成でデュッセルドルフに滞在。現在は東京と兵庫で制作、在住。2002年西宮市大谷記念美術館、2003年高崎市美術館はじめ美術館等の個展多数、国内外での展覧会に参加、発表。2013年瀬戸内国際芸術祭で《歩く方舟》設置。近年は2015年いわき市立美術館、2015-2016年豊田市美術館で大規模個展、2019年広島市現代美術館で三部作的な個展を開催。人を包み込むようなスケール感をもつ絵画ほか、版画、彫刻、インスタレーションなど、さまざまなメディアによる作品を展開。



山口啓介氏 撮影：山元彩香

開催中の企画展「瀧口修造／加納光於《海燕のセミオティク》」では、加納氏の希望で、ご交流のある山口氏がワークショップ講師を務められます。複数のイメージが込められた作風、あるいは独特な「色」についての思いなど、加納氏から類似した点も見受けられる山口氏の作風。今回は版画のみならず、美術家の中でテーマや技法を選んでいく理由、あるいは作品が完成を向けるときの感覚など、作品が出来上がっていく過程についてお話いただく予定です。

○会場：富山県美術館・3階ホール(定員100名／開場13時30分)

聴講無料・事前申し込み不要(座席は先着順)。展示室に入室の場合は観覧券が必要。
ホール、図書コーナーでは、飲食、録音・撮影などはできませんのでご了承ください。

富山県美術館

〒930-0806 富山県富山市木場町3-20 tel.076-431-2711 fax.076-431-2712

Toyama Prefectural Museum of Art and Design 3-20 Kiba-machi, Toyama City, Toyama, 930-0806, Japan tel. +81-76-431-2711